

授業科目 QOLの世界

【担当教員名】 能登 真一、 石原 美由紀	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・視機・健栄・スポ・社会・看護・情報		
	開講時期	後期	必修選択	選択		
	単位数	1	時間数	15		
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		
◎	◎	○	○	○		
【概要・一般目標：GI0】 I. ひとの生きがい、人生の幸福・満足感を知るために、社会の発展に貢献したモデル事例の行動を調査し、一般的なQOLを理解する II. 広い年齢層にわたる患者、対象者の問題を認識するために、非健康関連QOLと健康関連QOLとの相違を学習する						
【学習目標・行動目標：SBO】 1. モデル事例の行動を列記できる。モデル事例（予定） 2. 行動の社会的背景を説明できる。クリストファー・リーブ 3. 行動の動機を説明できる。神谷美恵子 4. 行動の社会的意義を説明できる。マジック・ジョンソン 5. 行動の課題を整理できる。マリ・キュリー など 6. モデル事例における達成感を説明できる。 7. QOLとは何かを説明することができる。 8. 自身のQOLとともに他人のQOLにも関心を持ち、QOLサポーターとして役立とうとする態度を身につける。						
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	本学の理念としてのQOL・オリエンテーション 一般事例の選択			1	講義、グループ分け	
2	QOL一般論、モデル事例の調査			1～6		
3	QOL一般論、モデル事例の調査			1～6		
4	モデル事例の調査（グループディスカッション）			1～6		
5	モデル事例の調査（グループディスカッション）			1～6		
6	モデル事例の調査発表			1～6		
7	モデル事例の調査発表			7		
8	まとめ					
【使用図書】	<書名>			<著者名> <発行所> <発行年・価格 他>		
教科書 (必ず購入する書籍)						
参考書						
その他の資料	図書館などの資料を利用、モデル事例についてのDVD インターネットによる検索					
【評価方法】 出席（20%）、グループ発表＋期末試験（80%）			【履修上の留意点】 ノート型パソコン使用			